

調査企画書

～2019年版 全プリンタ/全MFP市場分析レポート～

『新たな局面に向かう全プリンタ/全複合機市場の現状と将来分析』

マルチクライアントレポート

＝米中の貿易摩擦問題等が世界経済にマイナス影響を与えつつあるが、プリンタ/MFP業界も生産拠点の移管を余儀なくされるなど、様々な対応を迫られている。また、先進国を中心にこれまで以上のペーパーレス化の進行、アフター売上の減少など市場規模全体が縮小に向かいつつある中、今後業界各社がどのような対策、戦略を打って出るのか、などを分析してレポートするとともに、各メーカー/ベンダーのベンチマーク調査を通じて市場、業界の最新動向を、全世界各地域別スピード・サイズ別、生産地別等多岐にわたる詳細な調査項目に基づき調査分析し今後の市場の方向性を予測＝

2019年版

株式会社 **インターウォッチ**

東京都千代田区神田須田町1-8


INTER
WATCH

パールビル

TEL 03-3526-6461

FAX 03-3526-6462

Interwatch@iwco.co.jp

《レポート発刊にあたって》

2020年代を迎えつつある現在、米中貿易摩擦問題はじめ、英国のEU離脱(ブレグジット)問題に伴う欧州の変動等により世界経済は更に不透明感が増している。これまでは好調な世界経済に支えられていたが、プリンタ/MFP業界にもマイナスインパクトも出始めつつある。まずは中国の生産拠点に関して影響が既に出ている。これは中国への制裁関税「第4弾」の対象に複写機・複合機が含まれているため、生産移管で各メーカーはマイナス影響を抑える動きを見せている。米国市場向けは中国以外のタイ、ベトナム、マレーシアへの生産拠点シフトが本格化していることでサプライチェーンの変化がみられている。これまでグローバル構築されてきたSCMの見直し、ユーザー側においてもMPSの見直しがそれぞれ求められているといえ、大きな変化の波が予測される。

レーザープリンタ/MFP市場においては、業種、業務用途向けのプリンタは減少傾向にあるものの、底堅い需要を維持している。但し、2019年に入ってから欧州・中東地域などのEMEA地域においてはサードパーティ品の侵食率が徐々に上昇、純正率の高い米国も同様の傾向が生じてきており、純正消耗品によって事業利益を稼いでいる各メーカーにとっては再び深刻な状況が生まれつつあり、対応策が求められている。また、海外メーカーを含む参入メーカー各社がローエンドセグメントの市場からハイエンドへのシフトを進めている中、中国のPantumブランドの他にも2019年はCumtenn、Elean、Deliなど中国プリンターベンダーの自社開発と謳うローエンドセグメントのブランドが続々と発表されている他、Lenovoも同様の国産化シフトをしてきている。

複写機・複合機市場においては、米国をはじめとする先進国市場におけるPVの減少がアフター売上にマイナス影響を与えており、また、リプレース期間が伸びていることから年間の出荷台数にも影響を与えている。

さらに、韓国シンドによるエンジンOEMで中国メーカー(HGOA)のA3複写機・複合機が中国政府に入札するなど、プリンタ同様に中国メーカーによる新規市場参入も目が離せない。

ハードや消耗品の売上の落ち込み分を補うため新たな収益源とするべく各社が取り組んでいるのがソリューション分野である。複写機/複合機と各種クラウドサービス上のアプリケーションサービスと連携したサブスクリプションモデルのソリューション課金なども展開されてきており、各社の新サービス展開も着目点である。

ビジネスインクジェットにおいては、タンクモデルのレーザー市場への侵食度合い、A3インクジェットMFPの複写機・複合機市場への侵食度合いなども引き続き追いかけていく必要がある。本レポートでは、各市場で展開するメーカー/ベンダーの最新の状況をベンチマーク的に調査することで、激変しつつあるプリンタ事業とMFP事業の将来展望を探っていくものである。

A. 調査対象品目

1. カラーレーザー/LED プリンタ/MFP
2. モノクロレーザー/LED プリンタ/MFP
3. カラーMFP /PPC
4. モノクロデジタル MFP /PPC
5. アナログ PPC
6. インクジェットプリンタ/MFP
7. インパクトドットプリンタ
8. 熱転写プリンタ
9. プロダクションプリンタ

B. 調査方法

1. 調査対象先に対する直接訪問面接インタビュー。
2. 弊社蓄積データの活用。
3. 公開されている統計等のオープンデータ。

C. 調査対象範囲

調査対象範囲は 2014 年～2021 年とする。

D. 調査概略

1. 調査形態、及び提供サービス、報告書
 - 1) 本調査はマルチクライアントによる調査である。
 - 2) ご希望により報告書刊行後、報告会を実施。
 - 3) 報告書を購入していただいたクライアントに対する、問い合わせによるアフターサービス。
2. 調査期間
2019 年 9 月～2019 年 11 月
3. 調査報告書刊行予定
2019 年 11 月
4. 調査報告書価格
¥ 450,000 - (消費税別途)

E. 調査項目

A. 集計分析編

I. 全体分析

1. ワールドワイドの全プリンタ、デジタル PPC/MFP 市場推移
2. 地域別全プリンタ、デジタル PPC/MFP 市場推移
3. 地域別印字方式別プリンタ市場推移
4. 地域別メーカー別サイズ別スピード別プリンタ市場推移
5. 国内外プリンタ生産拠点の動向
6. 複合機 (MFP) の方向性
7. 各セグメント (スピード、サイズ) の方向性

II. 各印字方式別プリンタ市場の分析と今後の方向性

1. カラーレーザー/LED プリンタ
2. モノクロレーザー/LED プリンタ/MFP
3. カラーデジタル PPC/MFP
4. モノクロデジタル PPC/MFP
5. アナログ PPC
6. インクジェットプリンタ/MFP
7. インパクトドットプリンタ

B. 個別メーカー動向編

各社に共通

1. 全体コメント
2. 生産拠点の動向/グローバル生産体制の見直し
 - ① 日本 ②中国 ③アジア ④北米 ⑤欧州 ⑥他
 - ⑦生産委託(EMS)先との関係状況、生産拠点見直しの方向
 - ⑧生産拠点別生産量の動向
3. OEM 先の動向/アライアンス先との動向
4. カラー機の動向
5. コントローラ/ソフトウェアの動向
6. 今後の新製品開発の動向
7. 消耗品ビジネスの動向
8. 開発組織体制の状況、開発効率化の動向
10. 物流・環境関連対応その他

F. 申し込み方法

お電話、FAX、E-Mail、または郵便により弊社担当に申し付けください。

また、直接訪問による説明にも参ります。

尚、原則として現金によるお支払いとし、申し込み時に半金、調査報告書納品時に残金のご請求をさせていただきます。

また、必要がありましたら、途中経過報告書を納品致します。

《お申込書》

資料名	2019年版全プリンタ/全MFP/全PPC市場分析レポート 『新たな局面に向かう全プリンタ/全複合機市場の現状と将来分析』		
貴社名			
所属			
お名前			
TEL/FAX			
E-Mail	@		
お申込み日	年	月	日

上記欄にご記入の上、FAX、または郵送、E-mailにてお送りください。

お電話でのお問い合わせでも結構です。

株式会社インターウォッチ

野村哲夫

interwatch@iwco.co.jp

TEL : 03-3526-6461

FAX : 03-3526-6462